

# 養殖衛生管理体制整備事業

増養殖環境課 占部 敦史

## 1 目的

近年、食品の安全性に対する消費者の要求が高まっており、特に養殖水産物に関しては、現場で使用されている医薬品の使用状況や養魚用飼料の給餌状況、養殖漁場環境について関心が寄せられている。

本事業は、このような状況に適切に対処するため、養殖水産物の安全性を確保し、安全で安心な養殖魚の生産に寄与するため、魚病対策のみならず食品衛生や環境保全にも対応した養殖衛生管理体制の整備を推進することを目的とする。

## 2 内容

### (1) 総合推進対策

#### 1) 全国養殖衛生管理推進会議

開催日	開催場所	主な構成員	主な議題
2023年 3月13日	WEB会議	農林水産省消費・安全局、各地方農政局、水産庁、内閣府沖縄総合事務局、水産研究・教育機構水産技術研究所、日本水産資源保護協会、各都道府県魚病担当者	<ul style="list-style-type: none"><li>・水産防疫の実施状況</li><li>・水産機構や都道府県水産試験場からの発表</li><li>・養殖魚の迅速な診断体制に向けた対応について</li></ul>

#### 2) 地域検討会

##### ①瀬戸内海・四国ブロック魚病検討会

開催日	開催場所	主な構成員	主な議題
2022年 9月8日	WEB会議	三重県、和歌山県、大阪府、兵庫県、岡山県、広島県、愛媛県、香川県、徳島県、高知県、福岡県、大分県、水産研究・教育機構水産技術研究所、水産庁、日本水産資源保護協会	<ul style="list-style-type: none"><li>・2021年8月～2022年7月までの各府県魚病発生状況の報告</li><li>・話題提供・研究発表</li><li>・総合討議</li><li>・水産技術研究所魚病関連部局への研究開発ニーズ及び水産庁、消費・安全局等への要望事項</li></ul>

##### ②南中九州・西四国地域魚類防疫対策合同検討会

開催日	開催場所	主な構成員	主な議題
2023年 1月30日 - 2月3日	メール会議	鹿児島県、熊本県、大分県、宮崎県、高知県、愛媛県	<ul style="list-style-type: none"><li>・2022年4月～12月までの各府県魚病発生状況の報告</li><li>・話題提供・研究発表</li><li>・総合討議</li></ul>

(2) 養殖衛生管理指導

1) 医薬品適正使用指導

実施時期	実施場所	対象者(人数)	内 容
2022年4月- 2023年3月	水産試験場	魚病診断依頼業者(20)	水産用医薬品の適正使用方法に関する説明・指導

2) 適正な養殖管理・ワクチン使用指導

① 県中央部における水産用ワクチンの使用指導実績

2022年度における水産用ワクチン使用指導書交付件数は24件で、投与尾数はブリが555千尾、カンパチが472千尾、マダイが225千尾の総計1,252千尾であった(表1)。

表1 2022年度ワクチン指導実績

ワクチンの種類	用法	件数	尾数(千尾)
αレンサ(I・II)ワクチン	注射	3	126
αレンサ(I・II)・ビブリオ・イリドの混合ワクチン	注射	8	320
αレンサ(I・II)・ビブリオ・類結・イリドの混合ワクチン	注射	6	495
βレンサ・イリドの混合ワクチン	注射	3	105
イリドワクチン	注射	2	120
イリド・ビブリオ・αレンサの混合ワクチン	注射	2	86
合計		24	1,252

(3) 養殖衛生管理技術普及・啓発

1) 養殖衛生管理技術講習会

開催日	開催場所	対象者(人数)	内 容
2022年 5月24日	宿毛市	養殖業関係者(4名)	ワクチン接種技術講習会

(4) 養殖場の調査・監視

1) 医薬品残留検査

検査方法	実施時期	検体採取場所	対象魚種	対象医薬品	検査数	陽性数
簡易法	2022年12月	野見湾	カンパチ出荷魚	抗生物質	10	0

(5) 魚病対策

1) 魚病監視対策

野見湾において白点虫の寄生状況調査を実施した(表2)。2022年度における検査尾数は73尾で、陽性率は前年度(2021年度:5%)を大きく上回る27%であった。また、養殖カンパチにおいて被害が確認された。

表 2 白点虫寄生状況調査結果

魚種	検査結果	9月	10月	11月	計
マダイ	検査尾数	4	10	11	25
	陽性尾数	0	1	0	1
カンパチ	検査尾数	4	40	3	47
	陽性尾数	0	19	0	19
その他 (ブリ)	検査尾数	0	1	0	1
	陽性尾数	0	0	0	0
計	検査尾数	8	51	14	73
	陽性尾数	0	20	0	20
	陽性率 (%)	0	39	0	27

## 2) 魚病検査

2022年度における魚病検査は61件であり、前年度（2021年度：50件）と比べて22%増加した（表3）。61件の内訳は、カンパチが33件、マダイが13件、ブリが6件、その他魚種が9件であった。

表 3 魚病検査件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年度
魚病検査件数	1	5	12	7	7	4	9	3	2	6	3	2	61	50

### ①カンパチ

2022年度におけるカンパチの魚病診断結果を表4に示す。カンパチではαレンサ球菌症（*Lactococcus garvieae*）において従来とは異なるⅢ型が確認された。その他、滑走細菌症、ノカルジア症、類結節症、白点病などが発生した。本年度はノカルジア症の診断が10件あり、前年度（2021年度：2件）と比べて大幅に増加した。

表 4 カンパチの魚病診断結果

魚種	疾病名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
カンパチ	αレンサ球菌症（Ⅱ型）												1	1	
	αレンサ球菌症（Ⅲ型）			1										1	
	ノカルジア症				1			1	1	2	1			6	
	ノカルジア症・ビブリオ病							1						1	
	ノカルジア症・エラムシ症（ゼウクサブタ症）			1										1	
	ノカルジア症・エラムシ症（ゼウクサブタ症）・充血吸虫症											1		1	
	類結節症				1									1	
	滑走細菌症・ビブリオ病							1	1					2	
	エピテリオシスチス病						1							1	
	エピテリオシスチス病・エラムシ症（ゼウクサブタ症）				1									1	
	エラムシ症（ゼウクサブタ症）			1	5	1								7	
	エラムシ症（ゼウクサブタ症）・ノカルジア症													1	1
	エラムシ症（ゼウクサブタ症）・住血吸虫症												1	1	
	ハダムシ症・ビブリオ病				1									1	
	白点病								2					2	
	白点病・ビブリオ病								2					2	
	不明			1			1	1						3	
	計		1	2	7	4	2	2	7	1	2	2	1	2	33

## ②マダイ

2022年度におけるマダイの魚病診断結果を表5に示す。マダイではエドワジエラ症、滑走細菌症、エラムシ症、エピテリオシスチス症などが発生した。エラムシ症（ビバギナ・タイの診断が4件あり、前年度（2021年度：0件）と比べて増加した。

表5 マダイの魚病診断結果

魚種	疾病名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
マダイ	滑走細菌症・ビブリオ病										1			1
	エドワジエラ症					1	1							2
	エラムシ症（ビバギナ・タイ）		1	1										2
	エラムシ症（ビバギナ・タイ）・エピテリオシスチス病			1										1
	エラムシ症（ビバギナ・タイ）・カリグス症		1											1
	エピテリオシスチス病			1										1
	心臓ヘネガヤ症											1		1
	不明			1		1							2	4
計		0	2	4	0	2	1	0	0	0	2	2	0	13

## ③ブリ

2022年度におけるブリの魚病検査件数を表6に示す。ブリではビブリオ病、ノカルジア症が発生した。本年度のマダイイリドウイルス病の診断は0件であり、前年度（2021年度：5件）と比べて減少した。

表6 ブリの魚病診断結果

魚種	疾病名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
ブリ	ビブリオ病					1								1
	ノカルジア症										1			1
	黄疸症				1									1
	不明		1			1			1					3
計		1		1	2				1		1		6	

## ④その他の魚種の魚病検査結果

2022年度におけるその他の魚種の魚病診断結果を表7に示す。シマアジでは $\alpha$ レンサ球菌症（*Lactococcus garvieae* I及びII型）やビブリオ病、クロマグロではビブリオ病、イシガキダイではマダイイリドウイルス病が発生した。

表7 その他の魚種の魚病検査結果

魚種	疾病名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
シマアジ	$\alpha$ レンサ球菌症（I型）				1									1
	$\alpha$ レンサ球菌症（II型）・ビブリオ病						1	1	1					3
クロマグロ	ビブリオ病				1									1
イシガキダイ	マダイイリドウイルス病							1						1
ヒラメ	滑走細菌症					1								1
サツキマス	滑走細菌症+ビブリオ病			1										1
ユメカサゴ他	不明										1			1
計		0	0	1	2	1	1	2	1	0	1	0	0	9